

登録コード	A3243300	開講年度	2026				
授業科目	動物資源生産学実験				担当教員	竹田 謙一	
英文授業名	Experiments in Animal Science					富岡 郁夫・池田 敬	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・ 3 時限 火曜・ 4 時限	対象学生	3年生
講義室	第4実験実習室		授業形態	実験	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ, 2 0 2 1 Aカリ, 2 0 2 0 Aカリ, 2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付科目対象】農学に関する広い知識・技術を修得している				実験室及びフィールドにおける基本的な実験手技を修得している。		
	【2022年度以前加付科目対象】専門的な知識や研究能力を修得している				実験室及びフィールドで得られたデータの処理及びプレゼンテーション能力を修得している。		
	2 0 2 6 A3 編 (24A), 2 0 2 5 A3 編 (23A), 2 0 2 4 Aカリ, 2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付科目対象】農学に関する専門的知識・技術を修得している。				実験室及びフィールドにおける基本的な実験手技を修得している。		
	【2024年度以前加付科目対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				実験室及びフィールドで得られたデータの処理及びプレゼンテーション能力を修得している。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本実験実習では、1～5回では草地管理と家畜管理（動物行動管理学）、6～10回では、応用生殖学、11～15回では野生動物に関する実験実習を行います。						
(5)授業計画	第 1回 4月14日 動物行動管理学実験（ ）ガイダンス、牧草の識別とスケッチ 第 2回 4月21日 動物行動管理学実験（ ）放牧羊の採食量調査 第 3回 4月28日 動物行動管理学実験（ ）定性的行動評価の飼育間の比較 第 4回 5月12日 動物行動管理学実験（ ）放牧牛の行動調査 第 5回 5月19日 動物行動管理学実験（ ）家畜の暑熱ストレス評価 第 6回 5月26日 応用生殖科学実験（ ）細胞培養の基礎操作 第 7回 6月 2日 応用生殖科学実験（ ）細胞の継代・培養 第 8回 6月 9日 応用生殖科学実験（ ）細胞への遺伝子導入 第 9回 6月 16日 応用生殖科学実験（ ）細胞の蛍光観察・培地交換 第10回 6月23日 応用生殖科学実験（ ）細胞の蛍光観察・まとめ 第11回 6月30日 野生動物学実験（ ）野生動物における調査手法の説明と地図の書き方（GIS） 第11回 7月 7日 野生動物学実験（ ）地図の書き方（GIS）、自動撮影カメラの設置 第13回 7月14日 野生動物学実験（ ）データ収集と解析 第14回 7月21日 野生動物学実験（ ）データ解析、自動撮影カメラの回収、プレゼン準備 第15回 7月28日 野生動物学実験（ ）プレゼンテーション、授業アンケート						
(6)自主学習の指針	各実験実習単元の最初に配布される資料等を参考にして、事前に実習内容を把握して下さい。また、関連する講義のノートや資料を見直すことも勧めます。						
(7)成績評価の基準	レポート及び実習態度等から総合的に判断します。						
(8)事前事後学習の内容	配布された資料を事前に目を通すと共に関連する講義のノートや資料を見直して、実習の目的と内容を十分に把握して臨んで下さい。						
(9)テストやレポートの予定	各分野の実験実習終了後にレポート等を提出してもらいます。						
(10)成績評価の方法	実験に対する取り組みおよびレポートで評価します。評価基準は、実験態度50%レポート50%です。90点以上を「秀」、80-89点を「優」、70-79点を「良」、60-69点を「可」、59点以下を「不可」と判定します。実験実習のため再試験等の措置は行いません。 なお、成績評価の考え方は以下の通りです。 ・毎回の実験の手技の体得を計る実習点が50% ・各分野の基礎的理解が出来たかどうかを計るレポート点が50%						
(11)質問、相談への対応および連絡先	各回の担当教員にメールで質問・相談をして下さい。 第1～5回：竹田謙一 ktakeda@shinshu-u.ac.jp 第6～10回：富岡郁夫 tomioka@shinshu-u.ac.jp 第11～15回：池田敬 ikedat_a13@shinshu-u.ac.jp						
(12)履修上の注意	実験実習の開始時に担当教員から各回の説明があります。したがって、遅刻は厳禁です。また、実験実習に適した服装・靴で参加して下さい。特に野外実習については、事前に担当教員等に確認することを勧めます。						
【教科書】	特に指定しませんが、配布した資料を使って予習・復習に役立てて下さい。						
【参考書】	必要な資料は毎回配布します。						